

コスト抑制の取組み

〈肥料・農薬フェアの開催〉

田植えに合わせて水稻・雑草用除草剤や水稻用農薬、肥料などを特価で販売しています。
メーカー担当者から直接話しが聞ける貴重な機会となっています。

〈事前申し込みによる予約価格(値引)販売〉

春夏作の肥料や生産資材の申し込みを取りまとめて注文し、予約価格(値引)での販売を行っています。※各品目についても実施しています。

〈定期的な飼料特売〉

購買課と畜産課が連携し、毎月の繁殖・ふすまの飼料特売と、年3回の粗飼料・ラップの特売を行っています。

〈肥料・農薬大量購入特典〉

年間の肥料や農薬の、購入数量や金額に応じて奨励金をお支払いしています。※肥料については経済連指定の品目に限ります。



肥料・農薬フェア



飼料特売

農業者の
所得増大

イチゴ 新品種検討とハウスの環境改善

新品種「恋みのり」を検討

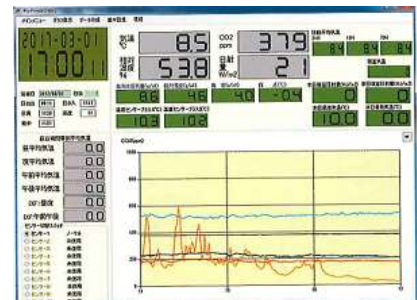


平
ト
レ
ー
に
「
恋
み
の
り
」
詰
め

栽培試験を行い、平成 29 年度より出荷しています。大玉率が高いことから、平トレーでの出荷を行い、付加価値をつけての販売にも取り組んでいます。

ハウス環境を最適化

炭酸ガス発生装置や自動開閉装置等を活用し、作物に合った温度、湿度、二酸化炭素濃度にする事で、生育しやすい環境を作っています。ハウス環境を測定できる装置を使い、経験や勘で管理するのではなく、最適な環境を数字で見ること、収量と品質の向上、生産者の所得増大につなげます。



ハウス環境をデータ化して管理

農業者の
所得増大

農業生産
の拡大

これまでも これからも

JA あおぞら感謝祭



新鮮野菜の即売会



女性部の豚汁ふるまいに大行列



自己改革ブースでアンケートのお礼に花苗をプレゼント

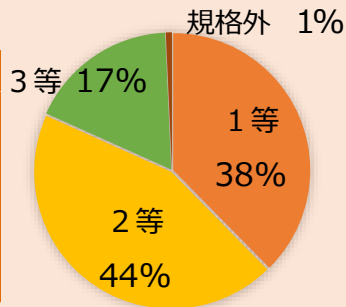
早期水稻「なつほのか」に品種統一

平成 30 年産より、早期水稻を「なつほのか」に統一しました。なつほのかの特徴である分けつと籾数が多かったことから、収穫量は玄米重量で 10 ㎡当たり 600 ㎏と多く、品質は乳芯白も見られず、1 等級も前年より格段に多い結果となりました。次年度からは、①土づくりの徹底、施肥の改善②収穫時期の検討③病害虫防除の徹底 などのさらなる検討をすすめ、生産者の所得向上につとめます。

〈平成 30 年産出荷実績〉

数量：玄米30kg袋

等級	数量	比率
1 等	4,145	38%
2 等	4,856	44%
3 等	1,936	18%
規格外	79	1%
合計	11,016	



農業者の
所得増大

生産者からもおいしいと評判の「なつほのか」

ナス 反収引き上げと労働力削減の取組み

なす部会では、以前より天敵を活用した栽培を取り入れ、農薬の使用回数や散布に係る労働力の削減に成果をあげています。平成 30 年産はさらなる省力化を目指し、新品種「PC 筑陽」を導入しました。

〈新品種「PC 筑陽」とは〉

●着果作業を省力化

自然着果（単為結果性）品種なのでホルモン処理や虫媒による受粉がなくても安定的に着果肥大します。

●トゲなしで作業性にすぐれる

果実のヘタや茎葉など、植物体すべてにトゲがほとんどないので、管理作業や収穫、袋詰めでの作業性の向上が見込め、ヘタのトゲによる荷傷み(傷果)が少なくなります。



〈天敵の導入と天敵増殖植物の育苗〉

「タバコカスミガメ」の導入によりスリップス類、コナジラミ類の防除の軽減がはかられました。また、JAの育苗センターで天敵増殖植物「クレオメ」の育苗を行い、ナス苗と同時に供給し安定して繁殖できる体制を構築しました。

天敵「タバコカスミガメ」が増殖する「クレオメ」

農業生産
の拡大

地域とともにあるために

地域貢献活動 「育てよう笑顔プロジェクト」



役職員で町内を清掃

年金感謝デー



来店者の皆さまをおもてなし

運営モニター会



組合員、利用者、地域の皆さまの「声」をきく

地域の
活性化

ゴーヤー 収量・品質アップにつながる仕立て方法導入

ゴーヤーは安定した需要に支えられていることから、安心して栽培できる品目の一つとして推進しています。

J A では、反収および秀品率のあがる仕立て方法『アコーディオン方式』を取り入れ、適期の追肥を行うことで、生産性向上と生産者の所得向上につとめています。



アコーディオン方式による仕立て

〈ゴーヤー反収量推移〉

H27年産	2,561kg
H28年産	2,351kg
H29年産	3,804kg



収量があがったポイント

- 管理しやすい高さで草勢のコントロールができる
⇒ 人工授粉の徹底により着果促進・育成促進・果実肥大促進につながっています。
- かん水および適期の追肥徹底
⇒ 施肥を遅れないようにすることで、収量を上げることにつながっています。

農業者の
所得増大

スマート農業の展開について

スマート農業とは、ロボット技術、インターネットを利用した情報通信技術、各種センサーを利用した遠隔地気象情報取得技術、人工衛星を活用した位置情報取得技術などを、一つあるいは複数組み合わせ、効果的・効率的かつ省力化した農業を実現するための技術または機器のことです。

鹿児島初上陸！ハウス内環境モニタリング装置
はかる蔵



温度や湿度、二酸化炭素量をリアルタイムに確認できます。他農家さんと情報共有でき、収量アップも期待できます。

JA あおぞらが独自で開発した
分娩監視カメラ



赤外線 LED も搭載した畜産専用モデル。インターネットを利用して、スマホやタブレットで監視できます。

分娩を確実にお知らせ！
牛温恵
(ぎゅうおんけい)



分娩間近の母牛の体温を随時測定することで、分娩 24 時間前に段取り通報、一時破水時駆けつけ通報を登録したメールアドレスに送ります。

発情を確実に発見！
牛歩(ぎゅうほ)



母牛の足に歩行計を装着し、母牛の行動量を測定することで発情を発見します。

農業者の
所得増大

農業生産
の拡大

JAあおぞらの

自己改革

JAあおぞらでは、組合員や地域にとって必要な組織であり続けるために「食と農を基軸とし、地域に根ざした協同組合」としてさまざまな取組みに挑戦してきました。今回、取組みの一部をご紹介します。



JAあおぞら自己改革の三本柱

群青H29年月11号掲載

加工用キャベツ 生産拡大

管内の栽培面積は平成 25 年からすると 1.7 倍に拡大。

JA では、小さい面積でたくさんの苗が育苗できる「セル成形苗」で供給しています。約 10 種類の品種を組み合わせながら出荷しています。平成 29 年に貯蔵施設を稼働開始。予冷施設を活用することで適期収穫後の一時貯蔵や出荷調整などを行い、安定生産と計画出荷による農業者の所得増大をめざしています。



育苗センターにて 根がしっかり張っているか確認



箱詰めの手間が省ける鉄コンテナでの出荷

